

平成26年第17回教育委員会定例会記録

平成26年10月17日（金）

杉並区教育委員会

教育委員会記録

日 時 平成26年10月17日（金）午後1時00分～午後1時22分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 馬場 俊一 委員 折井 麻美子

委員 伊井 希志子 教育長 井出 隆安

欠席委員 職務代理者 對馬 初音

出席説明員 事務局次長 井口 順司 学校担当部 和久井 義久

生涯学習スポーツ担当部長 井山 利秋 中央図書館長 渡辺 均

庶務課長 岡本 勝実 教育企画課長 筒井 鉄也

学務課長 植田 敏郎 特別支援課長 塩畑 まどか

学校支援課長 青木 則昭 学校整備課長 喜多川 和美

生涯学習推進課長 濱 美奈子 スポーツ振興課長 人見 吉也

済美教育センター所長 白石 高士 済美教育センター統括指導主事 平崎 一美

済美教育センター統括指導主事 大島 晃 中央図書館長 大林 俊博

特命事項担当副参事 高沢 正則

事務局職員 庶務係長 井上 廣行 法規担当係長 岩田 晃司

担当書記 仲野 祥一

傍聴者数 0名

会議に付した事件

(報告事項)

- (1) 学校希望制度の申請状況について
- (2) 杉並和泉学園の学園章について
- (3) 杉並区中学校対抗駅伝大会2014の開催について

目 次

議事録署名委員の指名について	4
報告事項	
（1）学校希望制度の申請状況について	6
（2）杉並和泉学園の学園章について	8
（3）杉並区中学校対抗駅伝大会2014の開催について	9

委員長 こんにちは。第3回区議会定例会、本当にお疲れさまでした。

明日、子供の運動会がこの秋の運動会シーズンも終わりということですが、いい天気になりそうなのでよかったなというふうに思います。子どもたちがすごくすてきな笑顔をしながら本当に頑張っているのをあらためて見て、うれしいなということを感じています。

そういう良い話の反面、今日は新聞でも、いじめ問題について重大ないじめが大変多くなったというのと、小学生の暴力が増大しているということで、子どもたちが本当に落ち着いて出来ているのかどうかというあたり、これからきめ細かく見ていかなければいけないのかなということであらためて感じてニュースを見させていただきました。いいことがたくさんあるような、そんな2学期後半にしていければいいなというふうに思っています。

それでは、ただいまから、平成26年第17回杉並区教育委員会定例会を開催させていただきます。

本日は對馬委員が欠席でございますが、定足数は満たしておりますので、このまま議事を進めさせていただきます。なお、本日の議事録の署名委員は折井委員にお願いいたします。よろしく申し上げます。

なお、10月15日付で新たに伊井希志子委員が教育委員に任命されました。任命後、最初の教育委員会ですので、伊井委員から一言ご挨拶をお願いできればと思っています。よろしく申し上げます。

伊井委員 10月15日付で教育委員の拝命を受けました伊井希志子と申します。よろしく申し上げます。

今日に至っても、私などで務まるのかどうか本当に心配しております。自分自身が一番心配しているのですけれども、教育長をはじめ、これまで教育委員会の方々、それから、学校の校長先生の方々、学校の先生方、地域の方々、PTAをやってきた仲間の皆さんとか、学校教育コーディネーター、青少年委員の仲間を思いますと、本当にたくさんの方々にお世話になって今日に至っているなということ強く感じております。でも、何よりも、やはり子どもたちの笑顔に励まされて今の自分があるなと思っております。

本当に微力でどのようにお役に立てるかわかりませんが、皆様のご指導を受けながら精一杯、務めさせていただきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

委員長 ありがとうございます。これからまた新たに、教育委員、井出教育長含めて5名で、力を合わせて杉並の子どもたちのために頑張っていければなと思っています。よろしく願いいたします。

それでは、次に、事務局の方から、説明員として、教育委員会の幹部職員をご紹介いただければと思っております。教育長からお願いできますでしょうか。

教育長 それでは、本日、伊井委員が初めての教育委員会でございますので事務局の説明員をご紹介いたします。

私は教育長の井出でございます。どうぞよろしく願いいたします。

私より部長級の紹介をいたします。

井口順司、教育委員会事務局次長でございます。

事務局次長 よろしく願いいたします。

教育長 和久井義久、学校教育担当部長でございます。

学校教育担当部長 よろしく願いいたします。

教育長 井山利秋、生涯学習スポーツ担当部長でございます。

生涯学習スポーツ担当部長 よろしく願いいたします。

教育長 渡辺均、中央図書館長でございます。

中央図書館長 よろしく願いいたします。

教育長 なお、課長級につきましては、事務局次長よりご紹介申し上げます。

事務局次長 それでは、私から課長級の職員をご紹介させていただきます。

岡本勝実、庶務課長（統括課長）でございます。

庶務課長 どうぞよろしく願いいたします。

事務局次長 筒井鉄也、教育人事企画課長でございます。

教育人事企画課長 よろしく願いいたします。

事務局次長 植田敏郎、学務課長（統括課長）でございます。

学務課長 よろしく願いいたします。

事務局次長 高沢正則、教育委員会事務局副参事（特命事項担当）、兼務で保健福祉部保育施設担当課長を兼務しております。

特命事項担当副参事 よろしく願いいたします。

事務局次長 塩畑まどか、特別支援教育課長でございます。

特別支援教育課長 どうぞよろしく願いいたします。

事務局次長 青木則昭、学校支援課長（統括課長）でございます。

学校支援課長 よろしくお願いいたします。

事務局次長 喜多川和美、学校整備課長（統括課長）でございます。

学校整備課長 よろしくお願いいたします。

事務局次長 濱美奈子、生涯学習推進課長（統括課長）でございます。

生涯学習推進課長 よろしくお願いいたします。

事務局次長 人見吉也、スポーツ振興課長でございます。

スポーツ振興課長 よろしくお願いいたします。

事務局次長 白石高士、済美教育センター所長でございます。

済美教育センター所長 よろしくお願いいたします。

事務局次長 平崎一美、済美教育センター統括指導主事でございます。

済美教育センター統括指導主事 よろしくお願いいたします。

事務局次長 大島晃、済美教育センター統括指導主事でございます。

済美教育センター統括指導主事 よろしくお願いいたします。

事務局次長 大林俊博、中央図書館次長でございます。

中央図書館次長 よろしくお願いいたします

事務局次長 なお、本日は出席しておりませんが、この他に加藤康弘、済美教育センター就学前教育担当課長がおります。

説明員は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。それでは、またあらためて皆さんと一緒に教育委員会の方を進めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議事に入らせていただきます。本日の議事日程は、ご案内のとおり、報告事項が3件となっております。

それでは、日程第1、報告事項の聴取を行います。初めに、「学校希望制度の申請状況について」の説明を学務課長からお願いいたします。

学務課長 私からは、平成27年度新入学児童・生徒の学校希望制度の申請状況をご報告させていただきます。

学校希望制度は、魅力ある教育活動の実現と開かれた学校づくりを目的として、平成14年度の新入学から実施してまいりましたが、10年を経過した平成23年5月から保護者にアンケート調査を行うなどして、見直しの検討を行ったところでございます。平成24年3月には検討報告をまとめまして、主な見直しといたしましては、当初の制度目的はほぼ達成されたものと考え、理由を問わず希望できるとしてきた運用から、今後

は、学校を志望する児童・生徒を尊重する新たな制度の構築を進めることといたしました。

その結果、平成25年度から学校希望制度受入れ数を段階的に縮小いたしましたして、平成27年度入学者をもって終了いたします。

代わって、指定校変更制度の認定事由の中に、新たに7号事由といたしまして、「学校の特色ある教育に参加を希望する場合」という事由を加えました。したがいまして、学校希望制度の入学申請は今回が最後となるものでございます。

今年度は、9月2日から9月30日まで希望申請を受け付け、小学校541名、中学校795名、合計1,336名から申請が出されました。

お手元の資料をご覧ください。左の大きな表でございますが、縦軸の上が小学校、下が中学校の各校の状況でございます。横軸が平成25年度から3か年の推移でございます。

例えば、杉並第一小学校ですと、27年度、Cの欄になります。37名の住基人口がおりまして、隣接校へ出る方が1名、隣接校からの申請、入ってくる方が40名、その差引きで39名プラスということでございます。また、杉並第二小学校の場合は、隣接校へ出る方が42名、隣接校から入ってくる方が13名ということでマイナス29名という数字になります。

右側の小さな表でございますけれども、各年度の希望申請者数の割合を示したものでございます。小学校につきましては、平成23年度から比率におきまして減ってきている数字があらわれております。また、中学校に関しましては、平成25年度から徐々に減ってきている数字でございます。

こちらの学校希望制度に関しましては、それぞれ抽選校になったところは抽選を行うということで進めているところでございます。また、指定校変更につきましては、1月15日に就学通知を発送いたしまして、その後、受付をするということでございます。

私からは以上でございます。

委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまのご説明につきましてご質問等ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

今年が希望申請最後になるわけですね。そうすると、平成28年度以降に希望申請がなくなって、例えば、他の理由をつけて、というようなことも出てくる可能性があるのではないかなと思いますけれども、その

辺はどうか。

学務課長 指定校変更という制度がございますので、特に多いのが、兄弟姉妹がいるということで指定校以外の学校を希望される方は多いと思います。また、7号事由ということで先ほどご説明しましたように、こちらの学校の特徴が自分自身に合っている。その学校に行きたい、という理由の方が徐々に増えてくるのではないかというふうに読んでおります。

委員長 その辺がなかなか、ある面では難しい部分というか、非常に悩む部分のところがあるのかなと。規定があるので、それに従ってもらえないとは思いますが、そういう意味では、各学校で本当にまた力を入れて、精力的にというか、そういう特色ある学校づくりを目指してもらわなければいけないのかなということを改めて感じるのですけれども。

特にはよろしいですか。

それでは、特にご意見等ありませんので、この件につきましては以上にしたと思います。ありがとうございました。

それでは、続きまして、「杉並和泉学園の学園章について」の説明を学校支援課長からお願いいたします。

学校支援課長 来年4月開校の杉並和泉学園の学園章について、資料左下にごございますデザインのとおり決定いたしましたのでご報告いたします。

学園章につきましては杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会において検討してまいりましたが、統合に当たっては子どもたちも参加することが大切であるという意見が出され、児童・生徒にアンケートを実施し、関わりを持たせることといたしました。小1から中3までと年齢に開きがあるため、アンケートは言葉で書いてもいいし、絵で示してもいいという柔軟な方法で実施したところ、全部で465件の応募がありました。

アンケート結果を踏まえ、地域のデザイナーにまず12点のデザインを提案していただき、懇談会やその下部組織である学園章検討部会での議論を踏まえ、資料にありますデザインが杉並和泉学園に最もふさわしいという結論になりました。

デザインのイメージを解説いたしますと、上の王冠は雫が泉に落ちて広がった「ミルクラウン」で、連続した9年間として突起が9本あります。左右のパターンは泉が湧き上がる力強さを示しております。

「IZUMI」の文字の下は3校が一緒になったことを示す3本の矢でもあり、両手を広げて健やかに育つ児童・生徒のイメージにもなっております。

学園章につきましては、3校で話し合った結果、子どもたちの参加を得て地域での十分な議論を踏まえたデザインであることから、このデザインを杉並和泉学園の学園章として決定したものでございます。

私からは以上です。

委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまのご説明につきまして、ご意見等ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

折井委員 本当に細かいことで、答えていただかなくてもいいような細かいことなのですけれども。「ミルククラウン」というのは何でしょうか。

学校支援課長 雫がぼちやんと落ちるのを超スローモーションでやると、ぐんと広がるようなイメージですね。

折井委員 なるほど、わかりました。ありがとうございます。

確かに力強さが感じられるような学園章でとても格好いいなというふうに思いました。

委員長 他にいかがでしょうか。

伊井委員 これは、校章として子どもたちが小中学校につけていたりというようなことはまだ決まっていないのでしょうか。

学校支援課長 これは、小中一貫9年間の学園章でございまして、体育館のどん帳ですとか、その他、通信簿とか体育の体操着など、どこに使うかはまだ決まっておられませんけれども、そういったところに使っていきたいと考えております。

伊井委員 とてもすてきな学園章ですね。

学校支援課長 特に保護者の方が、今までと違う新しい学校なのだから、将来をイメージさせるこれがいいと好評でございました。

委員長 本当にすてきな感じの学園章でよかったなと思います。多分、子どもたちもすごく喜びの笑顔をするのではないかなと思います。

他によろしいですか。

では、特にご意見ございませんので、この件については終わりにしたいと思います。ありがとうございます。

それでは、続きまして、「杉並区中学校対抗駅伝大会2014の開催について」の説明をスポーツ振興課長からお願いいたします。

スポーツ振興課長 杉並区中学校対抗駅伝大会2014の開催について、ご報

告いたします。

主催は杉並区中学校対抗駅伝大会2014実行委員会ということで、ご覧のとおりの方々の支援、ご協力をいただいております。また、杉並、高井戸の2警察署。あと、杉並消防署の救急隊が、救急車ではないのですけれども、消防車に乗って待機していただけたこと。あと、医師が1名と看護師2名の方、また、区民レスキューのボランティアの方々にも6人ほど応援をいただくこととを予定しております。

開催日でございますが、平成26年12月14日（日）に行います。

競技ですが、男女とも約10キロのコースを1チーム5名による駅伝ということで行います。

大会会場でございますが、昨年に引き続きまして都立和田堀公園陸上競技場（済美山運動場）になります。

裏面に参りまして、男子と女子の部でコースが1区から5区まで若干変わっていくといったところがあります。

参加資格ですが、区内の公立・私立の中学校と南相馬市と青梅市にもお声がけをしております、南相馬市の方は参加ということで、ご連絡をいただいております。青梅市の方は来週末までには正式にご連絡いただけるということになっております。私立の方では、日大二中が参加することとご連絡をいただいております。

こういった内容で大会を開催いたしますので、ぜひ応援の方もよろしくお願いたします。以上でございます。

委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまのご説明にご質問等ありましたらお願いたします。いかがでしょうか。

今年も日本体育大学陸上部の長距離の現役選手は招待するのでしょうか。

スポーツ振興課長 今年は特においでいただかない予定なのですが、それでも。

委員長 それは何か理由があるのですか。

スポーツ振興課長 時間短縮ということで。

委員長 そうですね。中学生の方でも、目指している子たちにとっては非常に参考になるし、あるいは一般の方たちにとっても、第一線で走っている人たちから話を聞いたりとかするとすごくいいなというふうに思

うのですけれども。残念なのですけれども、難しいですか。

スポーツ振興課長 再度、検討してまいります。

委員長 他にいかがでしょうか。

折井委員 コースがちょっと区によって変わったりとかするという
ことで、去年ちょっと手違いもあったようなので、走っている本人も必死に
なって走っているのではなかなか考える余裕がないのかなというふう
に思うのですけれども、絶対に間違いがないように。たくさん、400名
の方が当日、サポートをしてくださるみたいですが、そのあた
りが参考値になってしまわないように、ぜひ注意してあげてほしいな
というふうに思います。

スポーツ振興課長 昨年の失敗につきましては、役員の皆さんと共有して
生かしていきたいと思っております。

委員長 他にいかがでしょうか。特にはよろしいですか。

青梅市の方も参加できると、またさらに盛り上がるような、そんな
感じですよ。あとはいい天候になるように、それを祈りたいなという
ふうに思います。

では、特に他にはございませんので、この件につきましては以上にし
たいと思います。ありがとうございました。

報告事項につきましては以上です。

以上で本日予定されておりました日程につきましては全て終了いたし
ました。庶務課長の方からご連絡等ありましたら、お願いいたします。

庶務課長 次回の日程でございますが、次回の10月22日の定例会についま
しては、事務局側の都合により、委員長にご相談した結果、日程を変更
させていただくこととなりました。次回の定例会は10月29日（水）午前
10時を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

委員長 それでは、次回の定例会は10月29日（水）午前10時ということで、
ご予約の方よろしくお願いをしたいと思います。

それでは、本日の委員会の方を閉会いたします。お疲れさまでした。